

第5回西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議 会議録（ダイジェスト版）

令和3年6月25日、西脇市役所（大会議室）において、「第5回西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議」を開催しました。

会議では、第4回検討会議で行いました「地域・家庭から見た、学校と地域・家庭との連携・協働」をテーマとしたワークショップの意見整理や、これまでの検討会議における意見交換を踏まえた「適正な学級規模・学校規模」（案）について意見交換を行いました。

第4回検討会議の意見整理

と き : 令和3年3月26日
と ころ : 西脇市民会館 中ホール



第4回検討会議では、「家庭・地域から見た、学校との適切な連携」をテーマに委員から様々な意見が出されました。

その意見を次のとおり整理し、今後の協議に反映していくことを確認しました。

1

「地域と学校との適切な連携」について

～委員からの意見～

○地域と学校が、気兼ねなく情報交換できる拠点（場所）づくりが大切

2

「家庭と学校との適切な連携」について

～委員からの意見～

○PTA活動について

活動の重要性を再周知・再認識することが必要
活動内容の活性化も検討することが大切

○家庭と学校の役割分担について

学校任せにせず、双方（家庭・学校）の役割を再確認することが重要
（基本的な生活習慣や家庭学習習慣の定着、ゲームやスマホ使用等の指導）

○家庭と学校的意思疎通について

双方向（家庭・学校）の円滑なコミュニケーションを期待（情報ツール活用等）
（家庭と学校が課題意識を共有することが、家庭教育力発揮に繋がる）

3

「学校と家庭・地域の連携におけるポイント」について

～委員からの意見～

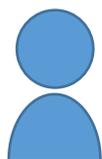
○学校・家庭・地域の連携を行う目的を共有することが大切

○学校と家庭・地域の連携は、「組織」として繋がることが重要
（コミュニティースクール等の制度も検討）

○学校と家庭・地域の連携を持続するキーワード「楽しさ」と「感謝」

○PTA活動そのものの在り方について、再検討することも大切

先進地視察研修報告（案）

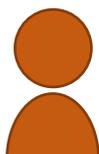


前期課程（小学校課程）と後期課程（中学校課程）の児童生徒が、学びの共同活動を適切に展開していた。前期課程の先生方と後期課程の先生方が、学年・校種を超えて円滑に情報交換されており、いいムードの職員室でした。

小学校舎と中学校舎が一体になった広い敷地・校舎等、先生方がのびのびと働ける環境が、子どもたちに提供する教育の質に良い影響を与えていると感じました。



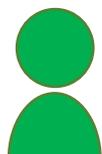
視察校で見たような、新たな教育のしくみの中で9年間過ごす子どもたちには、大きい力として現れると思います。一番印象に残ったことは、IT機器の使い方です。授業におけるタブレットの使い方についてもよく研究されていました。



今、どうして新しい教育システムを考えなければならないのか、どうして学校の在り方を考えなければならないのか等について、西脇市の市民全体が共有して考え、自分事として捉えていくことが、西脇市の将来の子どもたちのためになるのではないのでしょうか。



学習環境規模適正化に係る基本的な考え方（案）



学習環境規模の適正化を検討するにあたっては、保護者や地域の人々がどのように考えておられるのかを十分吸い上げていただきたい。また、様々なタイプの小中一貫校への見学機会もつくっていただきたい。

これまでの協議から、「教育環境」とはすなわち「先生方の労働環境」でもあるという認識を強くしております。先生方の勤務環境についても、議論を深めたいと思っています。



将来、西脇市の学校で実際に教育を受け、学校・地域を支えて行かれる小さなお子様をお持ちの保護者の方々や、これから西脇市で子どもを育てようと思っておられる方々が参加しやすいような説明会をお願いします。



…その他、貴重な意見がたくさん出されました。

西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議事務局
(西脇市教育委員会 学習環境規模適正化推進室)

西脇市下戸田128-1

☎0795-22-3111(代)

